

阿南市人事行政の運営等の状況の公表について

阿南市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、平成26年度の職員の任用、勤務条件等の状況を市民の皆さんにお知らせいたします。

平成27年10月27日
阿南市長 岩浅 嘉仁

1. 任免及び職員数に関する状況

◇職員数の状況 (単位:人)

部 局	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増 減
市 長	582	574	△ 8
議 会	6	6	0
選挙管理委員会	3	3	0
監 査 委 員 会	2	2	0
農 業 委 員 会	6	6	0
教育委員会	152	151	△ 1
水道事業	22	22	0
消 防	103	100	△ 3
計	876	864	△ 12

◇職名別職員数の状況 (単位:人)

区 分	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増 減
一般行政職	415	410	△ 5
税 務 職	36	36	0
医師・歯科医師職	0	0	0
看護・保健職	23	23	0
福 祉 職	135	135	0
企 業 職	22	22	0
技能労務職	113	110	△ 3
幼稚園教育職	28	26	△ 2
特定任期付職員	1	2	1
消 防 職	103	100	△ 3
計	876	864	△ 12

◇職種別職員数の状況 (単位:人)

区 分	平成25年4月1日	平成26年4月1日	増 減
事務吏員	385	379	△ 6
技術吏員	75	76	1
保 育 士	135	135	0
幼稚園教諭	28	26	△ 2
保 健 師	17	17	0
看 護 師	6	6	0
栄 養 士	3	3	0
図書館司書	9	9	0
運 転 技 師	29	30	1
保育所用務員	3	2	△ 1
学校用務員	19	18	△ 1
庁 務 員	8	7	△ 1
保育所給食調理員	16	15	△ 1
学校給食調理員	30	31	1
技 能 員	3	2	△ 1
作 業 員	6	6	0
医 師	0	1	1
弁 護 士	1	1	0
消防吏員	103	100	△ 3
計	876	864	△ 12

◇年齢別職員数の状況(平成26年4月1日現在)

(単位:人)

年齢 区分	18・19歳	20・21歳	22・23歳	24・25歳	26・27歳	28・29歳	30・31歳	32・33歳	34・35歳	36・37歳	38・39歳
男	3	9	9	27	17	20	18	22	20	12	17
女	3	4	15	24	15	20	19	13	22	21	23
計	6	13	24	51	32	40	37	35	42	33	40
年齢 区分	40・41歳	42・43歳	44・45歳	46・47歳	48・49歳	50・51歳	52・53歳	54・55歳	56・57歳	58・59歳	60～64歳
男	22	28	26	25	25	25	26	19	41	41	0
女	18	38	29	28	22	15	16	21	28	18	0
計	40	66	55	53	47	40	42	40	69	59	0
年齢 区分	計										
男	452										
女	412										
計	864										

◇競争試験の実施及び採用者の状況(平成26年度)

(単位:人)

職 種	第一次試験		第二次試験		平成27年4月1日 採用者数
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
上級行政事務	154	31	27	11	11
初級行政事務	69	12	8	5	5
上級土木技術	2	2	2	1	1
初級土木技術	1	1	1	0	0
保 育 士	45	22	20	13	13
幼稚園教諭	13	7	7	3	3
運転技師	10	6	6	2	2
上級消防	28	14	13	5	5
初級消防	34	13	12	4	4
計	356	108	96	44	44

2. 給与の状況

◇職員の平均給料月額及び平均年齢の状況(平成26年4月1日現在)

区 分	人数(人)	平均給料月額(円)	平均年齢
一般会計	803	315,049	42.04歳
特別会計	60	296,668	39.01歳
計	863	313,771	42.02歳

※警察職員は除く。

◇職員の初任給の状況(平成26年度)

区 分	金 額	
一般行政職	大学卒	174,200 円
	短大卒	151,800 円
	高校卒	142,100 円
医 師	博士課程終了	325,800 円
	医大卒	249,900 円
技能労務職	高校卒	139,500 円
	中学卒	131,500 円

◇職員手当の状況(平成26年4月1日現在)

手当名	支給要件等		支給額	支給職員数(人)
扶養手当	扶養親族	配偶者	13,000円	353
		子等配偶者以外の扶養親族	1人につき6,500円	
		配偶者のいない職員の扶養親族1人目	11,000円	
		満16歳の年度始めから満22歳の年度末までの子	1人につき5,000円を加算	
地域手当	民間賃金の高い地域に勤務する職員に支給		(給料月額+扶養手当+管理職手当)×支給率(18%)	1
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員の職のうち、その特殊性に基づき支給		給料月額×支給率 (支給率9%~14%)	105
住居手当	借家(間)	月額23,000円以下の家賃	家賃の月額から12,000円を控除した額	126
		月額23,000円を超える家賃	家賃の月額から23,000円を控除した額の2分の1に11,000円を加算した額	
通勤手当	交通機関	通勤のため交通機関を利用し、かつ、その運賃を負担することを常例とする職員に支給	1か月の通勤に要する運賃相当額-100円	725
	交通用具	通勤のため自動車等交通用具を利用することを常例とする職員に支給	片道距離×2×13円×22+1,000円 (消防交替勤務者) 片道距離×2×13円×12+1,000円	
単身赴任手当	官署を異にする異動又は在勤する官署の移転に伴い、住居を移転しやむを得ない事情により、同居していた配偶者と別居することとなった職員で当該異動又は官署の移転の直前の住居から当該異動又は官署の移転の直後に在勤する官署に通勤することが通勤距離等を考慮して困難であると認められるもののうち、単身で生活することを常況とする職員に支給		23,000円	3
特殊勤務手当	職員の勤務が著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務で、その勤務した実績に応じて支給		16種類 33支給区分	131
時間外勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務を命ぜられた職員に支給		1時間当たりの給与額×支給率×勤務時間 (支給率0.25~1.75)	583
休日勤務手当	祝日法による休日及び年末年始の休日等に勤務することを命ぜられた職員に支給		1時間当たりの給与額×支給割合×勤務時間 (支給割合1.35)	136
夜間勤務手当	正規の勤務時間として、午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務することを命ぜられた職員に支給		1時間当たりの給与額×0.25×勤務時間	0
管理職員特別勤務手当	管理又は監督の地位にある職員が、週休日又は休日等における勤務に対して支給		役職に応じて 2,000~13,500円	28
宿日直手当	宿直勤務又は日直勤務を命ぜられた職員に支給		4,200円	0
期末手当	基準日(6月1日、12月1日)に在職する職員に支給 一般職員 6月期 一般職員 12月期 特定管理職員(部長級) 6月期 特定管理職員(部長級) 12月期		期末手当基礎額×1.225月分 期末手当基礎額×1.375月分 期末手当基礎額×1.025月分 期末手当基礎額×1.175月分	862
勤勉手当	基準日(6月1日、12月1日)に在職する職員に支給 一般職員 特定管理職員(部長級)		勤勉手当基礎額×0.675月分 勤勉手当基礎額×0.875月分	857

退職手当	自己都合	勤続20年	21.62月分	—
		勤続25年	30.82月分	
		勤続35年	43.70月分 (最高限度額52.44月分)	
	勸奨・定年	勤続20年	27.025月分	
		勤続25年	36.57月分	
		勤続35年	52.44月分 (最高限度額52.44月分)	

※ 退職手当につきましては、徳島県市町村総合事務組合に事務委任をしています。

◇特別職の報酬月額等の状況(平成26年度)

区分	月額	期末手当支給割合	備考
市長	909,000 円	6月期 1.40月分	
副市長	724,000 円		
教育長	652,000 円		
政策監	350,000 円	12月期 1.70月分	
議長	482,000 円		
副議長	428,000 円		
議員	399,000 円		

◇ラスパイレース指数の状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
指数	105.8 (97.7)	106.0 (97.9)	98.6

※ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の、阿南市の給与水準を指数で表したものです。
(平成24、25年度下段は国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値です。)

3. 勤務時間その他の勤務条件の状況

◇勤務時間

勤務を要する日	毎週月曜日から金曜日までの週5日間 (国民の祝日に関する法律に規定する休日及び12月29日から翌年の1月3日までを除きます)
1日の勤務時間	8時30分から17時15分までの7時間45分
1週間当たりの勤務時間	38時間45分

◇休暇制度の概要(平成26年度)

種 類	内 容	休 暇 日 数 等
年次有給休暇		1年に20日
病気休暇	公務上の負傷又は疾病及び通勤による負傷又は疾病	その療養に必要と認める期間
	上記以外の負傷又は疾病	連続して90日を超えない範囲内でその療養に必要と認める期間
特別休暇	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の規定による交通の制限又は遮断	その都度必要と認める期間
	風水震災火災その他の非常災害による交通遮断	その都度必要と認める期間
	風水震災火災その他の天災地変により職員の現住居が滅失又は損壊し、当該職員がその復旧作業等を行い、又は一時的に避難をしているとき 同一世帯に属する者の生活に必要な水、食料等が著しく不足し、当該職員以外には確保する者がいないとき	1週間を超えない範囲内において、その都度必要と認める期間
	交通機関の事故等不可抗力による事故の場合	その都度必要と認める期間
	風水震災火災その他の天災地変により職員が退勤途上における身体の危険を回避するため勤務しないことがやむを得ないと認められる場合	その都度必要と認められる期間
	裁判員、証人、鑑定人、参考人等として官公署の呼び出しに応ずる場合	その都度必要と認める期間
	骨髄移植のための骨髄若しくは末梢血管細胞移植のための末梢血管細胞の提供希望者として、登録の申出を行い、又は配偶者、父母、子及び兄弟姉妹以外の者に、骨髄移植のため骨髄若しくは末梢血管細胞移植のため末梢血管細胞を提供する場合で、申出又は提供に伴い必要な検査、入院を行う場合	その都度必要と認める期間
	選挙権その他公民としての権利を行使する場合	その都度必要と認める期間
	所轄庁の事務又は事業の運営上の必要に基づく事務又は事業の全部又は一部を停止された場合	その都度必要と認める期間
	通信教育における面接授業を受ける場合	その都度必要と認める期間(1年につき20日)
	国民体育大会、青年大会に参加する場合	その都度必要と認める期間
	婚姻の場合	7日を超えない範囲内において、その都度必要と認める期間
	妊娠中の職員が通勤に利用する交通機関の混雑の程度が母体の健康維持に重大な支障を与えると認められる場合	正規の勤務時間の始め又は終りにつき、1日を通じ1時間を超えない範囲内でおのおの必要と認める時間
	妊娠中に母子保健法に規定する保健指導又は健康診査を受ける場合	妊娠23週まで 4週間に1回 妊娠24週～35週まで 2週間に1回 妊娠36週～出産まで 1週間に1回
	妊娠障害のため勤務することが著しく困難な場合	当該妊娠の期間中において5日を超えない範囲内において、その都度必要と認める日
	8週間(多胎妊娠の場合は14週間)以内に出産予定の女子職員が申し出た場合	出産の日までの申し出た期間
	女子職員が出産した場合	出産の日の翌日から8週間を経過する日までの期間
	職員の配偶者が出産する場合	2日
	女子職員が生理日に勤務することが著しく困難な場合	その都度必要と認める期間
	職員が生後満1年に達しない生児を保育する場合	1日2回 1回60分
	父母、子及び配偶者の祭日	1日
	忌引	親族により1日から10日の範囲内で必要と認める期間
	職員が心身のリフレッシュを図るため勤務しないことが相当であると認められる場合	採用された日の翌日から起算して9年、14年、19年、24年、29年、34年を経過する日の属する年において、連続する5日の範囲内の期間
夏季休暇	7月から9月までの期間内において6日以内	

	<p>中学校就学前の子の看護のため勤務しないことが相当であると認められる場合(負傷し、若しくは疾病にかかった子の世話又は疾病の予防のための予防接種又は健康診断を受けさせる場合)</p>	<p>一の年において5日の範囲内の期間 (養育する子が2人以上の場合にあっては、10日の範囲内の期間)</p>
	<p>職員の妻が出産する場合であって、当該出産に係る子又は小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため勤務しないことが相当であると認められる場合</p>	<p>出産予定日の8週間(多胎妊娠の場合にあっては14週間)前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの期間内における5日の範囲内の期間</p>
	<p>配偶者、父母、子等で負傷、疾病、老齢により日常生活を営むのに支障があるものの介護その他の世話を行うため、勤務しないことが相当であると認められる場合</p>	<p>一の年において5日の範囲内の期間 (要介護者が2人以上の場合にあっては、10日の範囲内の期間)</p>
<p>介護休暇 (無給)</p>	<p>配偶者、父母、子等で負傷、疾病又は老齢により日常生活を営むのに支障があるものの介護をするため、勤務しないことが相当であると認められる場合</p>	<p>介護を必要とする一の継続する状態ごとに、連続する6月の期間内で必要と認める期間</p>

◇年次有給休暇の取得状況(平成26年1月1日～12月31日)

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均取得日数	消化率(%)
18,401.0	5,252.0	478	11.0	28.5

※対象職員は市長部局の一般職員です。

◇育児休業の取得状況(平成26年度)

	男性(人)	女性(人)
この期間中に新たに育児休業が可能となった職員	4	14
新たに育児休業を取得した者	0	14
前年度から引き続けている者	0	17

◇その他休業の取得状況(平成26年度)

育児休業部分休業	1
高齢者部分休業	0
自己啓発等休業	0
配偶者同行休業	0

◇介護休暇の取得状況(平成26年度)

	男性(人)	女性(人)
新たに介護休暇を取得した者	0	0
前年度から引き続けている者	0	0

4. 分限及び懲戒処分状況

◇分限処分及び懲戒処分者数(平成26年度)

処分の種類		該当者数(人)	処 分 事 由
分 限 処 分	降 給	0	病気等
	休 職	3	
	降 任	0	
	免 職	0	
懲 戒 処 分	戒 告	0	
	減 給	0	
	停 職	0	
	免 職	0	

5. 研修及び勤務成績の評定の状況

◇研修実施状況(平成26年度)

	講座数	研 修 名	参加者数(人)
職場内 自主研修	20講座	新規採用職員研修(延2回)	80
		人事評価制度研修(延5日)	486
		不当要求行為対応研修	75
		情報セキュリティ研修	401
		庶務担当者研修	59
		環境行政研修(家庭ごみ収集)	37
		情報リテラシー研修	92
		労働安全衛生研修(延2回)	83
		職員コンプライアンス研修	745
		臨時職員任用時研修	297
		セクハラ・パワハラ研修	863
		ファイリングシステム研修	44
		地域づくり研修	54
		法令講座	175
		県自治研修センター	51講座
市町村係長研修	90		
市町村課長補佐研修	61		
市町村職員研修Ⅰ	30		
市町村職員研修Ⅱ	28		
市町村課長級研修	45		
パソコン研修	28		
財務・税務事務・行政法・法制執務研修	22		
各種講座	20		
全国市町村 アカデミー等	18講座	住民税課税・納税事務	3
		下水道セミナー(企業会計・設計)	3
		災害に強い地域づくりと危機管理	1
		地域保健と住民の健康増進	1
		出納事務研修ほか専門実務研修	16
人権問題研修	6講座	人権教育・啓発市民講座、夏期職員人権問題研修ほか	1,292

6. 福祉及び利益の保護の状況

◇勤務条件に関する措置要求の状況(平成26年度)

勤務条件に関する措置要求	0件
--------------	----

◇不利益処分に関する不服申立ての状況(平成26年度)

不利益処分に関する不服申立て	0件
----------------	----

◇健康診断の状況(平成26年度)

項目	委託先	検査項目	受診者数(人)
職員定期健康診断	(財)徳島県総合検診センター	基本検診、胸部X線、胃X線、血液検査、心電図検査	345
人間ドック	病院	—	383
脳ドック	病院	—	21

◇公務災害の状況(平成26年度)

公務災害(件数)	通勤災害(件数)
2件	0件

※公務災害補償制度の概要

地方公務員が公務上の災害(負傷、疾病、障害又は死亡をいう。)又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償し、必要な福祉事業を行うことにより、被災職員及びその遺族の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的としています。

補償の実施は、「地方公務員災害補償基金」が行います。

◇福利厚生制度

福利厚生制度は、阿南市職員共済会を設置し、給付やレクリエーション事業を実施しています。

経費の財源は、職員の会費と市からの交付金を充当しています。

◎交付金

平成26年度決算額	5,028,737 円	会員数 865人
平成27年度予算額	6,101,000 円	会員数 864人(平成27年4月1日現在)